

◆漫画賞 コミカライズ部門用プロット

※)●●M↓モノローグ

○場所…街はずれの森

主人公とヒロイン、モンスターと対峙している。

地面に座っている主人公は負傷しており、息が切れている。

ヒロインは主人公の側で膝をつき、道具を使って簡単な手当を施している。

ヒロイン「やっぱり急襲で受けたダメージが響いてるんじゃない…」

主人公、心配そうなヒロインを見て無理に笑顔を作る。

主人公「大丈夫だよ…」

主人公「いまこのA級モンスターを倒せるのは僕たちしかない」

主人公M…(とはいえ、身体中が悲鳴をあげて立っているだけで精一杯だ…)

主人公M…(次の攻撃がかすただけでも終わりそう。けど…)

主人公、ふらふらになりながらも立ち上がる。

ヒロイン「○○[主人公名]出血が…」

主人公「それでもやらなきゃいけないんだ」

主人公、モンスターに向かって駆け出す。

主人公M…(ここで倒さないと街に危険が及ぶ)

主人公M…(○○[ヒロイン名]も街の人たちも守れない)

主人公M…(大切な人を守る冒険者になると○○[ヒロイン名]約束したんだろ！)

主人公M…(ここを乗り越えられないでどうする!!)

主人公、歯をぐつと食いしばり、腕の血管が出るくらい剣を両手で握る。

主人公「限界を超える!!」

主人公、モンスターを倒す大技を繰り出す。

ヒロイン、驚いた表情で呟く。

ヒロイン「すごい…!! ○○[モンスター名]を一人で倒すなんて…!!」

主人公、ヒロインを見て安堵と喜びの混じった表情を浮かべる。

主人公M(大切な人を守る冒険者にまた一步近づけた！)

(終)